

令和3年度(2021年度)岩手県栄養士会事業報告 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

I 基本方針

- 1 「健康いわて21プラン(第2次)」の理念に基づき、健康寿命の延伸をめざした生活習慣病予防等のための、適正な栄養・食生活の実現に向け、専門職能組織として積極的な推進を図る。
- 2 超高齢社会を迎えた中で、低栄養の改善、疾病の重症化予防のため、病院から施設、在宅に移行後も一連で適切な栄養管理が継続できるよう、嚥下調整食の標準化を図るとともに、多職種間での栄養情報を共有し、地域包括ケアシステムを推進する。
- 3 自然災害等における栄養・食生活支援の重要性を認識し、自治体及び施設給食における危機管理体制を構築させるとともに、地域の自主防衛活動の支援を図り、関連団体と連携した健康危機管理時の食支援体制を整備する。
- 4 妊娠期の栄養、食物アレルギー疾患の対応、肥満傾向児の食生活、成長に応じたスポーツ栄養等、ライフステージに応じた母子栄養指導の専門知識を学び、リスクマネジメントを考慮した適切な食生活の支援を進める。
- 5 管理栄養士・栄養士の専門知識の向上、マネジメント能力開発のため、職域及び全体研修、生涯教育等を充実させ、公衆衛生の向上に寄与する人材を育成する。

※ 新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、各種事業を推進した。

II 事業

公1 県民の健康の増進、疾病予防及び栄養改善に関する講演、相談等の情報提供事業

<事業実施の目的>

地域健康課題解決にむけて科学的根拠に基づいた健康・栄養情報の提供や栄養指導を実施し、県民の健康づくり及び生活習慣病予防の促進を図る。

公1-(1) 講演会・公開講座事業【県民を対象とした健康と食生活に関する研修会】

- ・ 第16回食育推進全国大会 in いわて 6月26、27日(土・日)
主催 農林水産省、岩手県、第16回食育推進全国大会岩手県実行委員会
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため参集型イベントは中止、WEB開催に変更)

栄養士会として参画、独自内容を企画

会場/ 盛岡市 アイーナ 県民プラザ (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

内容/ 栄養ミニ講話、健康ストレッチ・体操、食育紙芝居

「君の描いた絵が動くよ！」お絵かきパラダイス

会場/ 滝沢市 アピオ (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

テーマ/ 『命とからだを守る災害時の栄養・食生活』

～東日本大震災津波の教訓を生かして、災害時の食事支援を考える～

内容/ 大震災津波における食生活支援の現状(フェイズごとの食事支援の現物展示、問題点の抽出等) 本来、あるべき食生活支援の姿(市町村における支援食材の備蓄、傷病やアレルギー疾患に配慮した食事提供、ボランティア、施設給食、自衛隊との連携等)

上記、アピオ会場の企画内容を動画配信に変更し、全国に発信
 動画「生命と健康を守る災害時の栄養・食生活」制作/岩手県健康国保課・岩手県栄養士会
 支援物資を提供いただいた全国の皆様に感謝の気持ちと、自然災害が頻発する現代社会にお
 いて、東日本大震災津波を教訓として、災害時の栄養・食生活支援のあるべき姿について提案

公1-(2) 栄養相談・食生活診断事業

【県民を対象とした健康と食生活に関する相談・食生活診断】

- ・ 第16回食育推進全国大会 in いわて 6月26、27日(土・日)
 会場/盛岡市 アイーナ 県民プラザ (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
 内容/『うまく食べられているかな?』～親子で、朝ごはんチェック～
 『健康・栄養相談』～生活習慣病を予防する食事のこと、何でもお答えします～

- ・ 地区活動における「いわて栄養月間」の取組み等

県内各地のイベントに併合し、栄養相談、食物アレルギーに関する相談、塩分チェック及び減
 塩指導、食育絵本の読み聞かせ、栄養クイズ等を通じて、県民の皆様に食事の大切さ、健康づく
 りを啓発普及

地区会	イベント名	期日・場所	内容等
県北 (二戸)	栄養ワンダー 2021	7/14(水) いぶきの里	低栄養予防に関する講話 参加者22名 従事者1名
		8/6(金) ショッピングセンターニコア	塩分・砂糖含有量フードモデル展示、栄養相談 参加者19名 従事者4名

上記以外の地区は新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント等が中止

公1-(3) 調理実習・栄養教室事業 【県民を対象とした健康と食生活に関する調理実習】

- ア 岩手県食育普及啓発キャラバン「大型食育絵本の読み聞かせ」
 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- イ いわて子どもの森食育学習への派遣 親子調理実習
 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- ウ 乳幼児の栄養食生活に関する相談
 アイーナ子育てサポートセンターとの連携による乳幼児期の食事・栄養相談を月1回実施
 9回 相談者12名 従事者2名 (8・2・3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止)

公1-(4) 情報提供・普及啓発事業 【県民を対象とした健康と食生活に関する情報・普及啓発】

- ア ホームページによる情報提供
 活動内容の紹介や健康と食生活に関する情報、研修会情報等を随時更新
- イ 栄養食生活情報紙『栄養いわて 第8号』2月発行 A4判両面8ページ、カラー印刷
 特別寄稿「栄養に対する思い」岩手県立中央病院長 宮田 剛先生、嚥下調整食マスター調
 理力アップ(岩手県食形態分類標準化推進事業)、岩手県栄養改善学会、活躍する管理栄養士・
 栄養士等を掲載、市町村、保健所、関係団体等に配布

- ウ 非常時における管理栄養士・栄養士の活動記録集「そのとき被災地は-栄養士が支えた命の食-」
東日本大震災津波発生直後の活動をまとめた活動記録集を県民等へ情報提供、頒布

公 2 管理栄養士・栄養士の資質の向上に関する研修事業

<事業実施の目的>

管理栄養士・栄養士は、科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上を図り専門職としての能力の習熟が求められることから、高度な知識と技術及びPDCAに基づく栄養管理能力を有するスペシャリストの育成を目指し、県民の栄養改善に寄与することを目的とし開催した。

公 2- (1) 研修会事業【県内の管理栄養士・栄養士等を対象に専門技術を高める研修会】

ア 栄養士研修会（専門知識・専門技術に関する研修会）

- (ア) 診療報酬及び介護報酬の運用に関する研修会 4月11日(日) 盛岡市 アイーナ
参加者 会場72名 オンデマンド配信受講 73名 DVD 受講 71名
北海道・東北ブロック研修会として開催

講演「令和3年度介護報酬改定に伴う運用について」

厚生労働省老健局老人保健課 介護予防栄養調整官 日名子 まき 氏

座長 岩手県栄養士会 会長 澤口 真規子

改定の留意点、科学的介護情報システム(LIFE)の運用、加算の算定条件等

講演「令和2年度診療報酬改定に伴う運用について」

厚生労働省保険局医療課 課長補佐 増田 利隆 氏

座長 青森県栄養士会 会長 齋藤 長徳 氏

改定に至ったエビデンスを整理し、具体的な対応と将来設計等

- (イ) 岩手県栄養士研修会 5月30日(日) 盛岡市 アイーナ 参加者 62名

講演「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)と生涯を通じた食の効果」

岩手医科大学 緩和医療学科 特任教授 木村 祐輔 先生

ACP は単に延命治療等の医療行為の是非を事前に決めておくことだけではなく、「生きる」ことに向き合うために、患者様を中心に家族や親しい人の話合いのプロセスが大事であること。関係者が望むケアサポートを、専門職として具現化していく必要性について

実践発表「人生の最後まで食をサポート」

岩手医科大学附属病院栄養部 栄養士長 二本木 壽美子

緩和ケアチームにおける管理栄養士の役割として、心が伝わる栄養サポート事例紹介等について

座長 岩手県栄養士会理事・県立中央病院栄養管理科長兼県医療局栄養指導監 山崎 久美子

ランチョン・セミナー 賛助会員による商品説明及び展示 9社

(ウ) 高齢者の明日の健康を支える食支援連携事業（岩手県食形態分類標準化推進事業）

助成：公益財団法人いきいき岩手支援財団

食生活及び栄養障害の改善、疾病の再発予防のため、岩手県内の医療、福祉及び保健に係る施設及び従事者が食形態の共通認識をし、要介護高齢者の摂食嚥下機能に対応した栄養管理に取り組むことを目的とし、さらに、在宅介護を支援する食生活改善ボランティア等と一体となった県民参加型の地域包括ケアシステムの推進に資する。（3年間事業の第2年次）

① 「嚥下調整食 調理力アップ～岩手県ガイドライン～」の作成

令和2年度作成した「嚥下調整食マネジメント～岩手県ガイドライン～」を基に、県内関係施設の給食施設において嚥下状態に応じた調整食を安全、的確に作るノウハウを集約したテキストを②研修会で汎用。

作成部数/A4、68ページ、オールカラー 1,500部作成 県内関係施設に配布

② 嚥下調整食マスターのための調理力アップ研修会

令和2年度の嚥下調整食の県内標準化に加え、具体的な調理方法等をマスターし、施設関係者が良質で均一な食支援が実現することをめざす。

期日等 9月～1月 県内20カ所

対象 施設給食に従事する管理栄養士、栄養士、調理師等、約420名が受講申し込み

内容 講話「嚥下調整食の理解」 調理実習「嚥下調整食の調理力マスター実習」

※上記のとおり企画調整等準備後に、岩手県緊急事態宣言が発令され、急遽開催中止とした。その代行として③を実施した。

③ 「嚥下調整食モデル献立実習動画」の配信

参集研修会の代行として、「嚥下調整食 調理力アップ～岩手県ガイドライン～」の作成に関わった調理師の調理工程動画を撮影し、栄養士会ホームページにアップした。

協力医療機関 岩手県立中央病院、岩手県立中部病院、岩手医科大学附属病院、
盛岡医療生活共同組合川久保病院

動画配信開始 No.1 11月1日、No.2 1月19日 動画視聴回数 512回

④ 「岩手県医療介護関係施設 食形態標準化実態調査」の実施

令和2年度に作成した「嚥下調整食マネジメント～岩手県ガイドライン～」の活用、及び県内標準化の現況を把握し、本事業評価及び課題を明確にした。調査結果は栄養士会ホームページで公開。

期日 令和3年12月、回答 令和4年1月14日

対象 県内の医療施設、介護施設等 全374施設の管理栄養士（経営主体）
回答 328施設（87.7%）

⑤ 岩手県食形態分類標準化推進委員会

No.1 7月29日（水）岩手県立中央病院 4階 大ホール 委員15名

No.2 3月3日（木） Zoom開催 委員15名

⑥ 岩手県食形態分類標準化推進委員会専門部会

No.1:4月23日(金)、No.2:5月7日(金)、No.3:6月11日(金)、No.4:2月25日(金)

場所/アイーナ、岩手県栄養士会事務所及び Zoom による開催

対象/専門委員7名等

イ 生涯教育研修会

幅広い知識と最新情報を学ぶことにより、専門的で効果的な栄養指導技術を身につけるための講演・演習による自己研修制度

岩手緊急事態宣言の発令より、8月に予定していた講演を1月に延期し、9月よりオンライン(zoom)配信の受講形態を加えて開催した。また、新たに実務経験3年以内の会員が無料で受講できるプログラム(★印)を設け新規に20名が受講した。

期日 会場	時間	内容	受講者数(名)	
			会場	Zoom
9/18(土) 岩手医科大学 附属病院内丸 メディカルセ ンター	午前 ★	COVID-19とウィズ・コロナを見据えた健康づくり 盛岡市保健所 所長 矢野 亮佑 先生	10	48
	午後 ①	管理栄養士・栄養士が蓄積すべき科学的根拠 ① 栄養管理に基づくデータ化の基礎 ② データの集計・解析・統計の基礎 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授 野口 孝則 先生	9	40
	午後 ②			
10/31(日) アイーナ 804A	午前 ★	【事務説明】 令和3年度介護保険制度改正及び介護報酬改定のポイントについて 岩手県保健福祉部長寿社会課 介護福祉担当課長 金 亜希子 先生 【実践発表】 介護報酬改定に伴う管理栄養士業務の現状 介護老人保健施設アルテンハイム青山 栄養科係長 志田 香代 特別養護老人ホームはなみずき 管理栄養士 高橋 希美 介護老人保健施設さわなり苑 副主任管理栄養士 吉田 可奈 介護老人保健施設やまゆり 管理栄養士 北島 雅代	41	54
	午後 ①★	生活者と食と笑顔 ～地域包括ケアシステムを考える～ 岩手県介護老人保健施設協会 会長 医療法人三秋会 理事長 長澤 茂 先生	30	33
	午後 ②	歯科医師と管理栄養士の協働ですすめる口腔機能向上と摂食嚥下 奥州市国保衣川歯科診療所 前所長 佐々木 勝忠 先生	30	35

期日 会場	時間	内容	受講者数(名)	
			会場	Zoom
11/20(土) 県歯科医師 会館	午前	地域包括ケアシステムにおける栄養ケア・マネジメントのサポート効果 関東学院大学 栄養学部管理栄養学科長・教授 田中 弥生 先生	28	37
	午後 ①★	高齢者の術後回復を促進する栄養管理とそのアウトカム評価 岩手県立中央病院 院長 宮田 剛 先生	37	43
	午後 ②	【セッション】 要介護高齢者の栄養状態をどう守るか --多職種連携、地域一体型による栄養ケア・マネジメントの推進-- 宮田剛院長、田中弥生教授をゲストにお迎えして 座長:岩手県立中部病院 栄養管理科長 伊藤 美穂子	34	42
1/15(土) アイーナ 804A	午前	嚥下調整食分類の意味と活用 ～医療・介護現場で期待される栄養管理の重要性～ 県立広島大学人間文化学部 教授 栢下 淳 先生	25	62
	午後 ①★	管理職から見た栄養管理と期待 岩手県立中部病院 院長 伊藤 達朗 先生	28	44
	午後 ②	社会変化の中での子どもの食と健康 社会福祉法人いわて共同福祉会 理事長 盛岡医療生活協同組合川久保病院 小児科医 小野寺 けい子 先生	17	33
		計 4日間 延べ人数	289	471

公2-(2) 岩手栄養改善学会事業

【管理栄養士・栄養士等を対象とした栄養改善・研究発表に関する学会】

12月4日(土) 盛岡市 アイーナ 参加者 113名

一般演題 4題 (医療2題、学校健康教育1題、研究教育1題)

特別講演「脳卒中循環器対策基本法とは？何が変わるのか？」

岩手医科大学附属病院 病院長 小笠原 邦昭 先生

座長 岩手県栄養士会 会長 澤口 真規子

循環器病の発症状況、医療現状(搬送、急性期～回復期シームレスな医療体制)、受動喫煙対策、迅速な患者搬送、医療関係者の育成、生活習慣の質の向上(生活のリズム、バランスのよい食生活、禁煙、節酒、睡眠、運動習慣)、かかりつけ医の活用等について

シンポジウム「食品成分表の改訂と給食施設の対応」

岩手県立大学盛岡短期大学部・岩手県栄養士会 理事 松本 絵美

岩手県一関保健所・岩手県栄養士会 副会長 金谷 明美

医療法人仁医会釜石のぞみ病院・岩手県栄養士会 理事 千葉 忍

座長 盛岡大学栄養科学部 名誉教授 秋田栄養短期大学 教授 笹田 陽子

公3 いわて栄養ケアステーション運営事業

<事業実施の目的>

本事業は、県民の生活習慣病及び要介護者の増加に伴い、医療費や介護費の負担が増している中、疾病の一次予防及び重症化予防、高齢者の介護予防・低栄養状態の改善、ひいては生活の質(QOL)の向上等、県民の食環境の整備を推進する拠点としての位置づけ、顔の見える(地域密着型)、管理栄養士又は栄養士の事業を行うことを目的とする。

公3-1) 講師派遣事業

市町村等が実施する県民を対象とした食生活と健康に関する相談・講話に対して講師を派遣

ア 介護予防教室、健康栄養事業

- ・盛岡市「元気はなまる筋力アップ教室」(2月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止)
講話 12回 参加者 243名
- ・盛岡市立津志田老人福祉センター(9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止)
調理実習 10回 参加者 50名、講話 7回 参加者 70名、栄養相談会 1回 参加者 4名
- ・盛岡市立みたけ老人福祉センター(5・8・9・2月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止)
講話 7回 参加者 93名、調理実習 1回 参加者 7名
- ・大船渡市「フレイル予防教室」9回 参加者 77名

イ 各種栄養相談・研修への派遣

- ・ふれあいランド岩手 ふれあいクッキング 6回 参加者 65名
- ・市町村、団体等からの講師依頼 8件 参加者 618名(Zoom参加、オンデマンド配信含)

ウ 地域ケア会議構成員推薦

盛岡市、宮古市、花巻市、釜石市、滝沢市、矢巾町、大槌町

エ その他栄養相談・栄養価計算 15件

公3-2) 無料職業紹介事業

管理栄養士・栄養士を雇用したい企業等に対し職を求めている管理栄養士・栄養士を紹介するマッチング事業(会員以外も含む) 管理栄養士・栄養士の雇用支援

- ・病院、施設、市町村、団体等から求人 17名

公4 食を通じた心と体の健康教室事業

<事業実施の目的>

東日本大震災の被災者は、複雑な生活環境の下で食生活に対する意識の低下が危惧されている。さらに、住み慣れた地域から離れ、新たな人間関係やコミュニティづくりが求められている。これを受け、本事業では、被災者の方々を対象に、食を通じた心と体の健康づくり及び被災者の孤立を防ぐ食生活コミュニティづくりを推進する。

被災者に向けた栄養・食生活コミュニティの推進 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

その他の事業 共益事業

(1) 新人行政栄養士研修会 委託:岩手県

- ・【1回】11月26日(金) 盛岡市 アイーナ 参加者 23名(会場6名、Zoom17名)
情報交換「私が取り組んでいる地域課題等について」
座長 岩手県栄養士会 会長 澤口 真規子

助言講話「専門性と連携力を生かした活動について」

盛岡市保健所 栄養副主幹 藤澤 由紀子

岩手県大船渡保健所 上席栄養士 岩山 啓子

- ・【2回】1月14日(金) 盛岡市 アイーナ 参加者 27名(会場4名、オンライン23名)
講義「介護保険制度、地域包括ケアシステムの推進における行政栄養士の役割について」
盛岡市保健福祉部長寿社会課 課長補佐 藤澤 勇 氏

情報交換「地域包括ケアシステムにおける栄養・食生活支援について」

岩手県栄養士会理事・県立中央病院栄養管理科長兼県医療局栄養指導監 山崎 久美子

(2) 行政栄養士研修会 委託:岩手県

12月10日(金) 岩手県歯科医師会館 参加者 62名(会場23名、オンライン39名)

講演「災害時における陸上自衛隊の給食支援について」

陸上自衛隊東北方面総監部装備部需品課 糧食班長 山本 裕 氏

栄養専門官 高橋 麻樹 氏

災害派遣の概要、過去の災害における給食支援の状況をお話いただき、市民が出来ること、県や市町村が取組むこと、さらに自衛隊との連携と分担により効率的に進める栄養・食生活支援について

講義「住民の生命と健康を守る栄養・食生活支援における行政栄養士のプログラミング能力」

岩手県栄養士会 会長 澤口 眞規子

要援護者の所在を把握し、有事には“必要な人に必要な栄養サポート”実施するため、岩手県栄養士会では災害時に県と一体となった「特殊栄養食品ステーション」を設置する他、要援護者に対する栄養・食生活支援活動をする。

法人運営に関する事業

(1) 総会 5月30日(日) 盛岡市 アイーナ会議室 804A 出席者 43名・委任状出席 352名

(2) 監査 4月16日(金) 岩手県栄養士会事務所 監事2名、会長

(3) 理事会

第1回 4月17日(土) アイーナ会議室 810 出席者理事16名・監事2名

第2回 6月12日(土) アイーナ会議室 810 出席者理事15名・監事2名

第3回 9月11日(土) アイーナ会議室 810 出席者理事14名・監事2名

第4回 12月18日(土) 岩手県栄養士会事務所 出席者理事13名・監事2名

第5回 3月12日(土) 岩手県栄養士会事務所 出席者理事13名・監事2名

(4) 会報『栄養いわて』 7月発行 A4判両面4ページ、白黒印刷

診療報酬及び介護報酬の運用に関する研修会等を掲載

令和3年度(2021年度) 会員数(2022年3月末日現在)
前年度に比べ22名増加した。

(人)

	総数	盛岡	県南	沿岸	県北
総数	761	359	227	107	68
医療	277	142	83	36	16
学校健康教育	32	14	8	7	3
研究教育	31	25	6	0	0
公衆衛生	84	18	27	19	20
地域活動	103	56	33	10	4
福祉	234	104	70	35	25

※注：地域活動には勤労者支援会員を含む